施工説明書　エ―①

キッチン用シングルレバー混合水栓
ホース引出式（耐圧フレキホース仕様）

品番：SK185XXDWDW45/179

(××＝本体仕上げカラー CR：クローム ST：ステン色)

日本水道協会　認証登録番号　C-166

このたびは、当社の商品をお買い求め頂き誠に有り難うございました。
施工の前に必ずこの説明書をお読みください。その後はお客様にこの施工書を
保管して頂くようお渡しください。

もくじ

- 商品図・安全上のご注意
- 使用条件・施工前の注意事項
- 施工、施工後の確認

●商品図　SK185CR

●安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので必ず守ってください。
施工完了後、正常に作動することを確認後お客様に使用方法・お手入れ方法を説明してください。
この施工説明書は取扱説明書と共にお客様で保管いただくよう依頼してください。

注意・・・取扱を誤った場合に、使用者が軽症を負うか又は物的破損のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

⚠ 注意	
🚫	湯水を逆に配管しないで下さい。 ※水を出す操作をして湯が出てヤケドをする恐れがあります。
❗	引渡し前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。 ※凍結破損による漏水で家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

●使用条件

給水給湯圧は次の条件を守ってください。

- 給水給湯圧は 0.05MPa 以上で使用してください。
- 給水圧力が 0.60MPa を超える場合は、減圧弁で 0.2～0.39MPa 程度に調整してください。
- 温度調整を容易にするため給水・給湯圧力の差圧はなるべく小さくしてください。
- 給湯には蒸気を使用しないで下さい。
- 湯沸器の設定温度は 47℃～50℃に設定し、レバー操作により希望温度に調節することで快適な流量が得られます

●施工前の注意事項

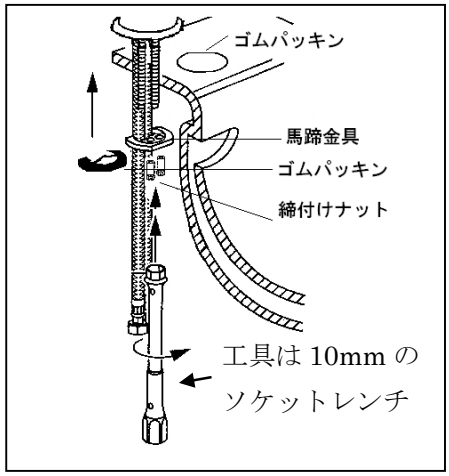
- 給水は上水道に接続してください。
  ※ 温泉水・井戸水等には使用できません。
- 逆配管をしないでください。
- 取付後の点検やメンテナンスのため、必ず止水栓と点検口を設けてください。
- 配管工事の際のゴミが配管内に残っていることがありますので、必ず配管内の異物を全て洗い流してから接続してください。
- ホースが破損した場合にキッチンキャビネット内に水が垂れることを防ぐため水受容器(別売)の設置をしてください。

●施工

１、本体の取り付け

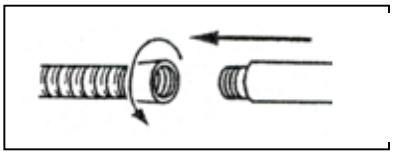
取付位置が正面であることを確認し、カウンター下よりゴムパッキン、馬蹄金具を組み込み締付ナットを締めつけます。

正面よりレバーハンドルの左右振幅が対象であることを確認し、再度本体締付ナットを十分に締め付けてください。



２、ノズルヘッド・ホースの接続

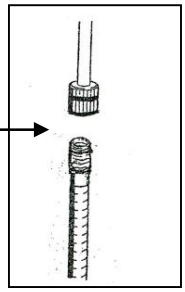
①ノズルヘッドとホースナット部をしっかりと締付けます。
②水栓本体のノズルヘッド引出口よりホースを挿入します。



３、真中の短い耐圧フレキホースとホースの接続

真中の短い給水・給湯耐圧フレキホース先端のネジをホースに締め付けてください。（必ず間にゴムパッキンを設置して下さい。）

ネジ山を確認し、手締めにてパッキンに当たるまで真っ直ぐに締め込みます。パッキンにあたるとネジが止まりますので、工具でしっかり締めつけします。
※　締め込み回転数の目安は、約１回転半です。



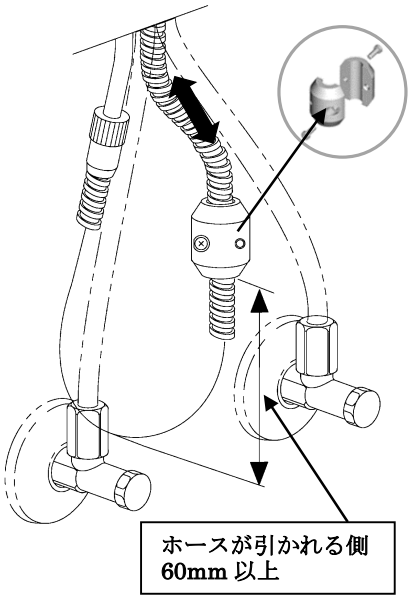
４．オモリ/ホースストッパーの取付け

※ホースを引出し過ぎない様にする為のストッパーです。

取付位置・作業が正しく行われないと水漏れや引出ホースの動作不良となる場合があります

① ストッパーの取付け位置を確認します
- 引出ヘッドを引いた時に**引き込まれる側**
- ホースのたるみの下端からストッパーの下端まで **60mm 以上**

② ストッパーでホースを挟みビス止めします

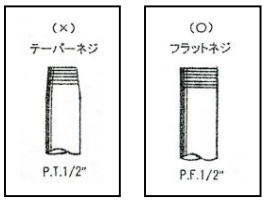


※取付後はヘッド部分を何度か出し入れし、ホースの捻じれやホースが止水栓等にぶつからない事を良く確認して下さい。

※キッチンシンクのサイズ等により引出し量を短くするにはストッパーの位置を上に調整します

５、逆止弁付配管アダプター、給水・給湯フレキホースの接続

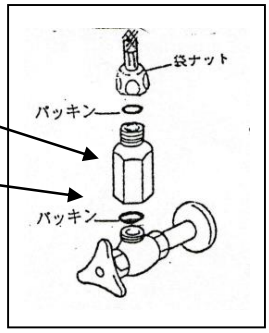
※アダプターは G(PF) 1 /2 の平行ネジです。テーパーネジは接続しないでください。
テーパーネジを接続するとアダプターが破損して水漏れをおこす恐れがあります。



※ 必ず純正のパッキンを使用し、シールテープや
配管用接着剤は使用しないで下さい。
水漏れを起こす恐れがあります

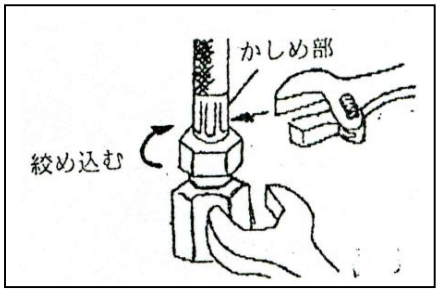
① 配管アダプター下にパッキンを入れ止水栓にしっかり固定します。

② 耐圧フレキホース先端の袋ナット部を、配管アダプターにしっかりと締付けます。(アダプター上面のパッキンは、袋ナット内部に組み込み済です。



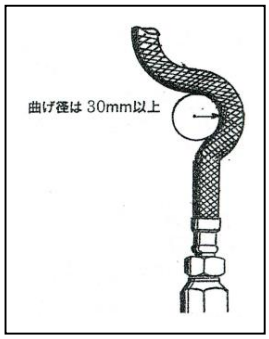
ネジ山を確認し、手締めにてパッキンに当たるまで
真っ直ぐに締め込みます。パッキンにあたるとネジ
が止まりますので、工具でしっかり締めつけします。
※　締め込み回転数の目安は、約３回転半です。

※ ホースかしめ部が回転しないよう、
モンキーレンチやプライヤー等でしっかりと
固定をしながら袋ナットを締付けてください。
かしめ部を固定しないとホースがねじれ漏水や、
吐水量が著しく不足する恐れがあります。



※締め込み回転数の目安は、約３回転半です。

※ フレキホースの最小曲げ半径は 30mm です。
これ以下の曲げ半径となる位置への止水栓の設置は避けてください。
ホースが折れて通水されず吐水量が著しく不足する原因となります。

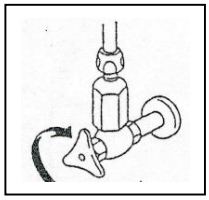


●施工後の確認

・全ての施工完了後、再度接続部ネジの締付を確実に行ってください。
・水漏れがないか再度確認をしてください。
レバーを中央で開栓して通水してください。
(5～10 分)その後、図の要領でゴミ詰りの確認をしてください。

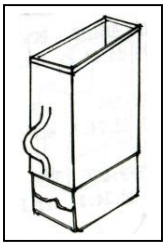
・給水給湯圧の調整

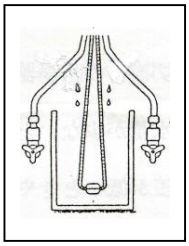
水側の止水栓を絞って、
水量を湯量の 1.5 倍くらいになるようにしてください。
温度調節がしやすくなります。



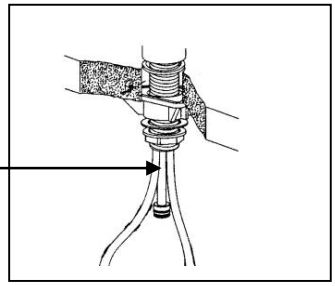
●水受容器（別売）の設置

ホースに水が伝いキャビネット内に浸入する場合があります。
またホースが破損した際キャビネット内に水が垂れることを防ぐため、
必ず水受容器をご使用下さい。





① ホースのねじれがないことを確認する。
また、水栓金具本体下部にあるホースとの接続パイプが真下（水受容器）に向かっていることを確認して下さい。



② 水栓金具の中心に水受容器の中心を合わせる（横・正面とも）。
また、水受容器の位置を前に移動させることで、よりスムーズにホースが戻りやすくなります。

※基本的には、上記の方法でホースはスムーズに出入れ出来きます。
キッチンの仕様（水栓金具の取付け位置・ひな段の有無/サイズなど）
によっては、現場での微調整が必要になります。